ちょっと拝見　高浜健康温泉センター「ゆたん歩°」

４月26日（土）、高浜健康温泉センター「ゆたん歩°」がオープンしました。内湯・露天風呂、足湯、歩行浴プールを備えたすてきな施設です。お二人の方に、「ゆたん歩°」への期待を伺いました。

楽しみな「ゆたん歩°」

清水町　藤牧　ユキ

私の楽しみが、一つ増えたような気がします。「ゆたん歩°」、素敵な名を付けてくださったと思います。

高浜マレットゴルフ場の側にあります。七十才になろうとする私が、今一番にやらなければならない健康法に必要な、立派な施設です。オープンしたら是非利用させていただきたいと、ワクワクドキドキしていました。

足腰、ひざ等にあらゆる痛みが生じる年となり、「転ばぬ先の杖」とでもいいましょうか、前向きに努力した方がよいと考えております。

ウォーキング、スポーツ、畑仕事をした時のリフレッシュにもよし、時には友だちを誘いゆっくり、のんびり話に花を咲かせるのもよし。町では医学的知識がある専門職の方もいて、やる気満々のようで、すごく頼りになります。

自分の体がやむを得ない時は、町のお医者さんにお世話になりますが、できるだけ心の悩みも同時に吹っ飛ばせたらと思います。本当に楽しみです。

温泉センターに思う

菅野町　荻原　靜枝

町の人たちが楽しみの高浜健康温泉センターが、いよいよオープンしました。温泉名に応募し、私も「ほっこり温泉」と書いた覚えがあります。「ゆたん歩°」と決まりましたが、考えは同じ思いです。

誰でも気軽に温泉に行くことができ、そこには健康器具があり、入浴後に休憩できる部屋がある。みんなでお茶をいただきながらお話ができるので、一人で住んでいる人の元気な場所になればよいと思います。

ただ、町の外れに位置するので、足の悪い人が通うことは大変だと思います。健康講座も開かれ、健康相談室もできるとのことです。これは私の思いですが、二時間おきくらいにバスが止まってくれればバス路線の停留所を作ってくだされば嬉しく感謝しと思います。

初めの間はにぎやかでも、日がたつにつれ利用者が少なくなり、近くの人たちばかりになってしまうことのないように、楽しく入浴できる施設であるよう盛り上げていきたいです。

町立図書館のコーナー

「作って遊ぼう人形劇ごっこ」

6月29日（日）午前10：30～

簡単な人形を作って劇あそびをします。７月５・６日に文化センターで開催される人形劇まつりのプレイベントです。下諏訪の人形劇団ぽろぽろんが指導してくれます。誰でも無料で参加できます。問い合わせは図書館（27－5555）まで

今月のおすすめ本

「おおやまさん」

川之上 英子，川之上 健　作・絵
出版：岩崎書店　　読み聞かせ時間：５分

【内容紹介】おおやまさんは幼稚園バスの運転手。いつも怖い顔でバスを運転しているけれど、実は…。ちょっと不器用だけど、とっても優しいおおやまさんのお話です。（酒井　智寿子）

教育委員会からのおしらせ

町民大学

演　題：**「日本人の知恵と暮らし」**
講　師：**宮坂　徹（諏訪湖博物館・赤彦記念館 館長）**
日　時：**６月８日（日）　午後１時30分から３時まで**
会　場：**下諏訪総合文化センター２階　集会室**

現代の私たちは、本当に豊かな暮らしをしているのでしょうか。

「豊かさ」とはなんでしょうか。巨大な組織の中で、あふれかえったモノに囲まれ、一日で古くなってしまう情報に左右されて自分で判断する暇もなく、時間に押し流されてしまっています。

自分自身を見つめ、これからの暮らしを考える手がかりに、先人の知恵があります。より豊かな暮らしのために、先人の知恵と暮らしをもう一度検証してみようと思います。

六月のこゝ

六月。雨は降らずとも気温は上がり、湿気は多くじめじめとした毎日が続く季節になりました。この時期は特に疲れやすく、外に出るのも動くことも嫌になり、家にいることが多くなる私ですが、そんな時は本を読んでいます。

私にとって本を読むことは、頭の体操で、多くの知識や想像力を与えてくれます。本によって、文章を読み解く力や多くの人の考え方、新しいイメージを作る上での発想力を学ぶことができました。小学生の頃から本を読むことが好きになった私ですが、学生から社会人へと成長していく上で役立つことがたくさんありました。これからも新たな分野へ、自分を成長させるために本を読み続けたいと思います。

六月は衣替えの時期でもあります。暑くなっていくこれからに向けて、「まだ着るから」と捨てられない自分との熱い戦いが始まりそうです。

（太田）